



Japan Flower Selections PRESS

Garden Plant Division 2020 Spring - Summer

ジャパンフラワーセレクション
ガーデニング部門2021 夏審査会
入賞・特別賞受賞品種のご紹介

ガーデニング部門
*Spring-
Summer*



夏のガーデニング部門の入賞・特別賞が決定しました。

Japan Flower Selections Garden Plant Division

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション（JFS）」のガーデニング部門では、このたび、春に定植し夏にかけて花壇やコンテナ等で楽しむことができる品種を選定する「夏審査会」を4回実施しました。

審査は、千葉大学環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市：千葉大学柏の葉キャンパス）にあるJFSトライアル花壇において栽培試験を実施し、生育過程の観察を行いました。

千葉大学環境健康フィールド科学センター JFSガーデニング部門審査圃場（露地花壇・屋根付き施設）の様子
JFS Trial Garden & Green House at Center for Environment, Health and Field Sciences, Chiba University.



Field Examination 審査会実施概要

■夏審査会：①2021年5月25日 ②6月29日 ③8月3日 ④9月9日

■植栽・審査会場：千葉大学 環境健康フィールド科学センター（千葉県柏市）

Judges 審査員

国内の花き業界を代表する学識者、ガーデンデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行いました。

部門長
山本岳史 Takeshi Yamamoto

豊明花き(株) 企画本部外商部 次長

尾崎明弘 Akihiro Ozaki

(株)オザキフラワーパーク
代表取締役

杉井志織 Shiori Sugii

はなぐみ 代表

村上智弘 Tomohiro Murakami

(株)フラワーオークションジャパン
鉢物部 部長

山口まり Mari Yamaguchi

(一社)日本ハンギングバスケット協会 理事

渡辺 均 Hitoshi Watanabe

千葉大学環境健康フィールド科学センター
教授



なお、これら入賞した品種の中から、総合的に優秀な品種に与えられるベスト・フラワー（優秀賞）並びに新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを持つ品種に与えられる特別賞の受賞品種も決定いたしました。ベスト・フラワー（優秀賞）は、この年の最優秀賞である「フラワー・オブ・ザ・イヤー」の候補となります。



◆露地花壇 群植した時のパフォーマンスを確認

(群植)

定植後2日(12/10)



定植後70日(2/16)



定植後112日(3/30)



◆屋根付き施設 1株のパフォーマンスを確認、8〜9号鉢に定植して観察

(単株)

定植後2日(12/10)



定植後112日(3/30)



定植後154日(5/11)



JFSガーデニング部門の審査は、数か月にわたりJFSの審査花壇（千葉大学環境健康フィールド科学センター）にて2〜3週間ごとに栽培記録をつけ、生育経過を観察した資料と現地での審査で行います。

栽培方法は？・・・植栽計画や維持管理は千葉大学環境健康フィールド科学センターの監修で行われています。

露地花壇と屋根付きの施設の中で行い、それぞれの環境下での生育を観察しています。

メンテナンスは一般家庭における管理方法を想定したメンテナンスを行います。

審査方法は？・・・栽培試験では定期的に写真撮影と計測による栽培記録シートを作成。栽培記録シートも参考にしながら、植栽場所で現地審査（採点評価・協議）を行います。

◆「ガーデニング部門」出品募集中！

定植時期や、観察希望期間、出品料について詳しくはご相談ください。

本年は露地花壇リニューアルの都合により、新規の定植を10月最終週からとさせていただきます。2022年の冬春審査の出品をご検討中の方は、早めにご相談ください。

栽培観察・審査場所：

千葉大学環境健康フィールド科学センター

出品に関するお問い合わせは

jfpc@jfpc.or.jp へ！

■出品料：1品種1期（1〜3か月）30,000円（税込33,000円）

ただし、（一財）日本花普及センターの賛助会員のうち団体会員A（都道府県、各種団体、企業、協同組合）の方は1品種1期 20,000円（税込22,000円）の特別価格が適用されます。（休会中の会員については適用されません）

例）4月〜9月までの観察を希望される場合は、30,000円×2期＝60,000円（税込66,000円）の出品料となります。

特別価格の適用の場合は、20,000円×2期＝40,000円（税込44,000円）となります。

3か月の観察後の延長観察のご希望は、1か月単位で承ることができるようになりました。追加の出品料は1品種1か月10,000円（税込11,000円）となります。

特別価格の適用の場合は、7,000円（税込7,700円）となります。

ベスト・フラワー（優秀賞） [グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]

ペチュニア「ビーズニーズ」（株）エム・アンド・ビー・フローラ



6/29撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2021年5月17日～9月9日

審査講評：これまでになく鮮やかな濃いイエローの花色が、夏のガーデンに爽やか。多花性で連続開花性に富み退色しにくい。花がらが少し目立つ。従来の黄色系品種のなかでもとくに耐暑性、耐雨性に優れ、コンテナ植えでもガーデンにも利用できる。草姿もバランスがよい。夏は下葉の枯れが気になった。最近のレモンブームに乗せてアピールしてみたい。ベスト・フラワー（優秀賞）とグッドパフォーマンス特別賞 同時受賞。



6/29撮影



6/29撮影



屋根付き施設



▲2021/6/10 (定植後24日)



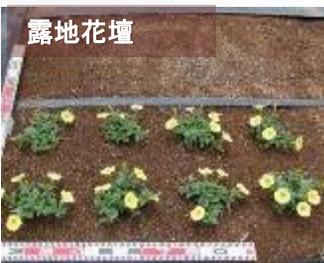
▲2021/6/22 (定植後36日)



▲2021/7/19 (定植後63日)



▲2021/8/20 (定植後95日)



露地花壇



▲2021/6/8 (定植後22日)



▲2021/6/22 (定植後36日)



▲2021/7/19 (定植後63日)

▲2021/5/28 (定植後11日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ/ライフデザイン/カラークリエイト 特別賞 同時受賞]

カリブラコア「チャチャ ディーバ アプリコット」
(株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2021年5月17日～9月9日

審査講評：咲き進むとともにソフトピンクからオレンジ色に花色が変化する。新奇性のある花色がかわいらしくにぎやか。多花性で連続開花し、夏でも花数が減らず、花色変化も安定して発現する。同社のシャル・ウィ・ダンス・シリーズに比べると大型で広がるため、花壇や大鉢向けとされているが、ドーム状に茂ってコンパクトによくまとまり、草姿も均一に揃っている。ベスト・フラワー（優秀賞）とともにモーストジョイ特別賞、ライフデザイン特別賞、カラークリエイト特別賞の3つの特別賞も同時受賞。



▲2021/5/27 (定植後10日)

▲2021/6/10 (定植後24日)

▲2021/6/22 (定植後36日)

▲2021/7/19 (定植後63日)

▲2021/8/20 (定植後95日)



▲2021/5/28 (定植後11日)

▲2021/6/8 (定植後22日)

▲2021/6/22 (定植後36日)

▲2021/7/6 (定植後50日)

ベスト・フラワー（優秀賞）

ペチュニア「YES！ピンクスマイル」（株）エム・アンド・ビー・フローラ



6/29撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：(株)ミヨシ

育成者権者：(株)ミヨシ

観察期間：2021年5月17日～9月9日

審査講評：濃いベインと白のぼかしが入る花色は発色がよく新奇性があり、気候の影響を受けにくく花色が安定している。多花性で、遠目で見たときと近くで見たときの印象が変わるのもよく、目の高さで観賞されるハンギングバスケット、コンテナガーデンによい。株張りも非常に良く、株元からの分枝性もあり、小輪の花をドーム状に多数着ける。耐暑性に優れ、花壇でも十分な存在感がある。ベスト・フラワー（優秀賞）受賞。



8/3撮影



6/29撮影



屋根付き施設



▲2021/5/27 (定植後10日)

▲2021/6/10 (定植後24日)

▲2021/6/22 (定植後36日)

▲2021/7/20 (定植後64日)



露地花壇



▲2021/5/28 (定植後11日)

▲2021/6/8 (定植後22日)

▲2021/6/22 (定植後36日)

▲2021/7/19 (定植後63日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [ブリーディング/グッドパフォーマンス特別賞 同時受賞]

ペラルゴニウム「レッドエクスプロージョン」（株）エム・アンド・ビー・フローラ



8/3撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Toscana Breeding B.V.

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2021年5月17日～9月9日

審査講評：耐暑性に富んだ種間交雑種のゼラニウム。濃い赤色が引き立つ。花卉が落ちにくいので従来品種より扱いやすく、安心して花壇に植えられる。耐暑性に富み、夏の間も連続開花しており、高温障害も出ていない。切り戻さなくてもコンパクトにまとまる。また、切り戻してもしっかりと蕾をつけ、植栽地に合った草丈にコントロールできるのもよい。ベスト・フラワー（優秀賞）、ブリーディング特別賞、グッドパフォーマンス特別賞を同時受賞。



9/9撮影



8/3撮影



屋根付き施設



▲2021/5/27
(定植後10日)

▲2021/6/22
(定植後36日)

▲2021/8/5
(定植後80日)

▲2021/8/31
(定植後106日)



露地花壇



▲2021/5/28
(定植後11日)

▲2021/6/22
(定植後36日)

▲2021/8/3
(定植後78日)

▲2021/9/2
(定植後108日)

ベスト・フラワー（優秀賞） [モーストジョイ/グッドパフォーマンス/ フォトジェニック特別賞 同時受賞]

ペチュニア「ラブリーアイ」タキイ種苗（株）



6/29撮影

受賞者：タキイ種苗株(京都府)
ホームページ：<https://www.takii.co.jp>
育成者：タキイ種苗株
育成者権者：タキイ種苗株
観察期間：2021年5月24日～9月9日
審査講評：中心にチェリーレッドのアイが入るピンキーホワイトの花色がかわいらしい、多花性の中輪品種。ピンクの花色と青紫色の花粉のコントラストがよい。耐暑性、耐雨性に優れ、夏でも退色しない。分枝性に富み、従来品種よりも立体的にふんわりと茂り、株が割れにくい。花壇植えでは1株で直径1mほどに力強く生育する。ベスト・フラワー（優秀賞）と同時にモーストジョイ特別賞、グッドパフォーマンス特別賞、フォトジェニック特別賞の3つの特別賞も同時受賞。



8/5撮影



8/3撮影



屋根付き施設



▲2021/5/27 (定植後10日)

▲2021/7/8 (定植後52日) 7/12 摘芯

▲2021/7/20 (定植後64日)

▲2021/8/5 (定植後80日)



露地花壇



▲2021/5/28 (定植後11日)

▲2021/6/22 (定植後36日)

▲2021/7/19 (定植後63日)

▲2021/8/31 (定植後106日)

グッドパフォーマンス特別賞

ペチュニア「サフィニア JAPANレッド」 サントリーフラワーズ (株)



6/29撮影

受賞者：サントリーフラワーズ(株) (東京都)
 ホームページ：<https://suntory.jp/FLOWER>
 育成者権者：サントリーフラワーズ(株)
 観察期間：2021年4月19日～8月20日
 審査講評：深みのある真紅の花色は気品と存在感がある。花芯周辺の紫色がかかった濃い赤色がポイントになり、離れて見ても新しさを感じる。

株元からよく分枝して花首が短く、株もよくまとまる。夏も退色せず花が咲き続けるが、花壇植えでは株自体の傷みがやや気になった。株が乱れることなくドーム状にきれいにまとまるタイプでもあるので、どちらかという軒下で栽培するコンテナ植え向く。切り戻し有り/無し両方で比較したところ切り戻しを行わなくても良く咲いていた。グッドパフォーマンス特別賞受賞。



9/9撮影



9/9撮影



屋根付き施設



▲2021/5/27 (定植後38日)



▲2021/7/8 (定植後80日) 7/12ピンチ



▲2021/7/20 (定植後92日)



▲2021/8/5 (定植後108日)



露地花壇



▲2021/5/28 (定植後39日)



▲2021/6/8 (定植後50日)



▲2021/6/22 (定植後64日)

グッドパフォーマンス特別賞

ペチュニア「サフィニアアート いちごシェイク」 サントリーフラワーズ (株)

6/29撮影



受賞者：サントリーフラワーズ(株) (東京都)
 ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>
 育成者権者：サントリーフラワーズ(株)
 観察期間：2021年4月19日～8月20日
 審査講評：白覆輪とさくら色が涼しげな今までにない色目。生育は旺盛で、花数も多く、グランドカバーなどにも利用できそう。少し株の高さが揃わないところもあるが、自然風に見えてよいという評価もあった。

肥料の効き具合でも花色が変化するという点は、花色が様々なパターンへの変化を楽しめるとするか、花色の抜けととるかで見方も変わる。7月中旬にピンチをしたところ、生育旺盛なためにやや乱れ気味だった草姿もドーム状に、また退色もきれいに回復した。ピンチをしない露地花壇も今年の猛暑に枯れ上がることもなく生育を続けたので、株の丈夫さは良く確認できた。

用途や好みによって適切な手入れをして、露地でもコンテナでも様々な楽しめる品種。グッドパフォーマンス特別賞受賞。



8/5撮影



8/3撮影

屋根付き施設



▲2021/4/27
(定植後8日)



▲2021/5/27
(定植後38日)



▲2021/7/8 (定植後80日) 7/12摘芯



▲2021/7/20
(定植後92日)



▲2021/8/5
(定植後108日)

露地花壇



▲2021/4/27
(定植後8日)



▲2021/5/28
(定植後39日)



▲2021/6/8
(定植後50日)



▲2021/6/22
(定植後64日)

カラークリエイト特別賞

カリブラコア「ミリオンベル プチホイップ ラムレーズン」 サントリーフラワーズ (株)



受賞者：サントリーフラワーズ(株) (東京都)
 ホームページ：<https://suntory.jp/FLOWER>
 育成者権者：サントリーフラワーズ(株)
 観察期間：2021年4月19日～8月20日
 審査講評：バイオレットから淡いピンクのグラデーションが個性的ニュアンスカラー。花卉が多すぎず、八重がしっかりとし、色の特徴を良く表現している。

多花性で、連続開花性に富む。生育スピードは緩やかで、ボリュームは出にくいので、コンテナでの寄せ植えやハンギングバスケットなどに向くだろう。露地花壇では株張りが弱かったが、この品種の特徴であるシックな花色は、炎天下の花壇で見ると、軒下のほうが魅力が増すようにも思われる。コンテナで、切り戻しをした株は、盛夏でも美しかった。カラークリエイト特別賞 受賞。



▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/27 (定植後38日)

▲2021/7/8 (定植後80日) 7/12摘芯

▲2021/7/20 (定植後92日)

▲2021/8/5 (定植後108日)



▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/28 (定植後39日)

▲2021/6/8 (定植後50日)

▲2021/6/22 (定植後64日)

カラークリエイト特別賞

カリブラコア「ミリオンベルブチホイップ マーメイド」サントリーフラワーズ (株)

6/29撮影



受賞者：サントリーフラワーズ(株) (東京都)
 ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>
 育成者権者：サントリーフラワーズ(株)
 観察期間：2021年4月19日～8月20日
 審査講評：

赤色からオレンジ色のグラデーションが美しい人気の色目。同シリーズのラムレーズンと同じく、すっきりとした重なりの少ない八重なので、中心部の濃い色がはっきりと見える。個性的だが、他の植物との合わせやすさもあるところも魅力。

生育は緩やか、草姿はコンパクト。露地花壇では、夏に多少傷んで花数も減るが、切り戻せば回復する。寄せ植えやハンギングバスケットなどでも使い勝手がよさそう。近くで見るほうが、花型や花色の個性が楽しめる。適宜切り戻しをするとより楽しめることもアナウンスしたい。カラークリエイト特別賞 受賞。

8/3撮影



8/3撮影



屋根付き施設



▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/27 (定植後38日)

▲2021/7/8 (定植後80日) 7/12摘芯

▲2021/7/20 (定植後92日)

▲2021/8/5 (定植後108日)

露地花壇



▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/28 (定植後39日)

▲2021/6/8 (定植後50日)

▲2021/6/22 (定植後64日)

ライフデザイン特別賞

カリブラコア「ミリオンベル プチホイップ ストロベリー」 サントリーフラワーズ (株)



受賞者：サントリーフラワーズ(株) (東京都)
ホームページ：<https://suntory.jp/FLLOWER>
育成者権者：サントリーフラワーズ(株)
観察期間：2021年4月19日～8月3日
審査講評

：赤色系の八重咲き複色品種。同シリーズの中ではやや大輪。生育もシリーズの中では一番伸びた。個性的でありながら、誰にでも好まれるかわいらしい花色で、アクセントにもまとめ役にも利用できるだろう。高温期でも退色が見られず、この特徴的な花色をキープした。

寄せ植えにもハンギングにも最適。株の暴れを抑えるためにも、適宜切り戻して育てるとよりよいだろう。ライフデザイン特別賞受賞。



▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/27 (定植後38日)

▲2021/7/8 (定植後80日) 7/12摘芯

▲2021/7/20 (定植後92日)

▲2021/8/5 (定植後108日)



▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/28 (定植後39日)

▲2021/6/8 (定植後50日)

▲2021/6/22 (定植後64日)

カラークリエイト特別賞

カリブラコア「DLF1811-6 (仮称)」 (有) ジョルディカワムラ



受賞者：(有)ジョルディカワムラ (栃木県)
 ホームページ：<http://www.giardino-k.com/>
 育成者：川村一徳、佐藤和規
 育成者権者：川村一徳
 観察期間：2021年4月19日～9月9日
 審査講評：

黄色→濃いサーモンピンクに黄色い筋が入るあでやかな花色。花色の変化が多色を植えたようで、とても楽しい。草丈は低めだが、花がしっかり上向きで咲いてくれる。

高温期でも退色しないが、露地花壇では株が傷んで花数がやや減り、株の中心部の花数は少ないのが気になった。どちらかと言えば、寄せ植えやハンギングバスケットなどに向くだろう。カラークリエイト特別賞受賞。



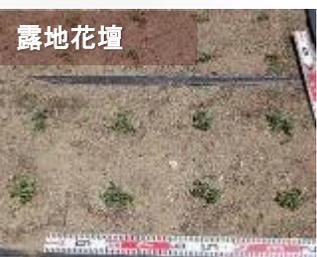
▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/27 (定植後38日)

▲2021/7/8 (定植後80日) 7/12摘芯

▲2021/7/20 (定植後92日)

▲2021/8/20 (定植後123日)



▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/28 (定植後39日)

▲2021/6/8 (定植後50日)

▲2021/7/6 (定植後78日)

グッドパフォーマンス特別賞

カリブラコア「チャチャ ディーバフロスティレモン」

(株)エム・アンド・ビー・フローラ

6/29撮影



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>
育成者：Ball Horticultural Company
育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
観察期間：2021年5月17日～9月9日
審査講評：

大輪で多花性のカリブラコア。新奇性に富むさわやかな色目のレモンイエローの花はグラデーションが美しく、夏に涼しげな印象。5月下旬に定植し、1か月後にはほぼ咲きそろうという仕上がりの早さ、またその後の連続開花性も確認できた。

節間が短くコンパクトにまとまる草姿がととてもよい。やや花弁が反り返る点は少し気になった。軒下でのコンテナ栽培のほうが育てやすいかもしれない。手入れの方法やアドバイスを付けて販売するとよい。グッドパフォーマンス特別賞受賞。

7/8撮影



6/29撮影



屋根付き施設



▲2021/5/27 (定植後10日)

▲2021/6/10 (定植後24日)

▲2021/6/22 (定植後36日)

▲2021/7/8 (定植後52日)

露地花壇



▲2021/5/28 (定植後11日)

▲2021/6/8 (定植後22日)

▲2021/6/22 (定植後36日)

▲2021/7/19 (定植後63日)

入賞 カリブラコア「DLF3-15(仮称)」(有) ジョルディカワムラ

6/29撮影



受賞者：(有)ジョルディカワムラ(栃木県)

ホームページ：<http://www.giardino-k.com/>

育成者：川村一徳、佐藤和規

育成者権者：川村一徳

観察期間：2021年4月19日～9月9日

審査講評：ピンクの濃淡に黄色のポイントが入る。定番の花色ながら、光沢があるため発色がよい。多花性で連続開花性に富む。草姿はよくまとまっている。

生育がゆっくりなのでハンギングバスケットやコンテナには使いやすい。高温多湿期前なら広い植栽地でもパフォーマンスを發揮する。茎も太く強健で適切にピンチすることでよい状態を保つことは可能なので、消費者へのアドバイスを付けて販売すると良い。

9/9撮影



8/3撮影



屋根付き施設



▲2021/4/27
(定植後8日)

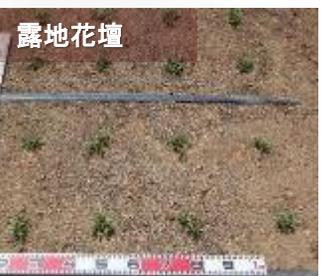
▲2021/5/27
(定植後38日)

▲2021/7/8 (定植後80日) 7/12摘芯

▲2021/7/20
(定植後92日)

▲2021/8/5
(定植後108日)

露地花壇



▲2021/4/27
(定植後8日)

▲2021/5/28
(定植後39日)

▲2021/6/8
(定植後50日)

▲2021/7/6
(定植後78日)

入賞 カリブラコア「DLF4-20 (仮称)」 (有) ジョルディカワムラ



受賞者：(有)ジョルディカワムラ (栃木県)
 ホームページ：<http://www.giardino-k.com/>
 育成者：川村一徳、佐藤和規
 育成者権者：川村一徳
 観察期間：2021年4月19日～9月9日
 審査講評：

DLF3-15(仮称) とよく似たピンクと濃いピンクのカラーリング。ややくすんで落ち着いたピンク色の様にも見える。花サイズは、DLF3-15よりやや大きめ。

草姿は適度に茂りまとまりがよかった。ほかのDFLシリーズより生育旺盛、多花で、定植後1か月半ほどで仕上がった状態の花壇になった。高温多湿期になると、株元の枯れ上がりが見えていたが、雨よけ施設ではピンチを行えば問題なし。消費者へのアドバイスを付けて販売すると良い。



▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/27 (定植後38日)

▲2021/7/8 (定植後80日) 7/12摘芯

▲2021/7/20 (定植後92日)

▲2021/8/20 (定植後123日)



▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/28 (定植後39日)

▲2021/6/8 (定植後50日)

▲2021/7/6 (定植後78日)

入賞 カリブラコア「DLF7-13 (仮称)」 (有) ジョルディカワムラ

8/3撮影



受賞者：(有)ジョルディカワムラ (栃木県)
 ホームページ：<http://www.giardino-k.com/>
 育成者：川村一徳、佐藤和規
 育成者権者：川村一徳
 観察期間：2021年4月19日～9月9日
 審査講評：シックなブドウ色は飽きがこずに秋まで長く楽しめる花色。大きめの濃いブロッチが入り、ぱっちりとした印象的な花色。咲き始めと咲き終わりの花色がグラデーションになり、立体感を感じることができる。

茎の長さに長短があり、まとまりながらも動きがある。切戻すと株が花色も株もきれいに復活してくる。

他のDLFシリーズと同じく、生育のゆっくりとしている点を生かして、コンテナ植えやハンギングバスケットで楽しむのに最適。

8/3撮影



8/3撮影



屋根付き施設



▲2021/4/27
(定植後8日)



▲2021/5/27
(定植後38日)



▲2021/7/8 (定植後80日)
7/12摘芯



▲2021/7/20
(定植後92日)



▲2021/8/5
(定植後108日)

露地花壇



▲2021/4/27
(定植後8日)



▲2021/5/28
(定植後39日)



▲2021/6/22
(定植後64日)



▲2021/7/6
(定植後78日)

入賞 カリブラコア「DLF14-6 (仮称)」 (有) ジョルディカワムラ



受賞者：(有)ジョルディカワムラ (栃木県)
 ホームページ：<http://www.giardino-k.com/>
 育成者：川村一徳、佐藤和規
 育成者権者：川村一徳
 観察期間：2021年4月19日～9月9日
 審査講評： 発色のよいラベンダー色。咲き始めと咲き終わりの花色のコントラストが立体感を添えている。
 コンパクトにまとまり、コンテナやハンギングバスケットにも向く。夏越しの際、株自体のボリュームや花数は減らないが、花が小さくなることを改善されたい。



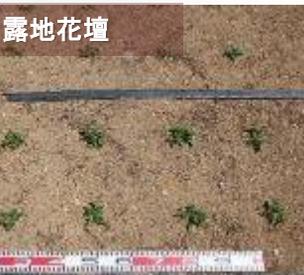
▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/27 (定植後38日)

▲2021/7/8 (定植後80日) 7/12摘芯

▲2021/7/20 (定植後92日)

▲2021/8/5 (定植後108日)



▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/28 (定植後39日)

▲2021/6/22 (定植後64日)

▲2021/8/3 (定植後106日)

入賞 カリブラコア「DLF18-5 (仮称)」 (有) ジョルディカワムラ



6/29撮影

受賞者：(有)ジョルディカワムラ (栃木県)
 ホームページ：<http://www.giardino-k.com/>
 育成者：川村一徳、佐藤和規
 育成者権者：川村一徳
 観察期間：2021年4月19日～9月9日
 審査講評：中心が黄色いピンクの大輪花で、存在感がある。多花性で、バランスよく整うのでコンテナ植えや寄せ植えに向く。また、伸びやかに広がっていくのでグラウンドカバーとしての利用も期待できる。華やかな色目は公共の場所でも映えるだろう。暑さ負けの様子が見られたので、耐暑性の改善に期待したい。



8/3撮影



8/3撮影



屋根付き施設



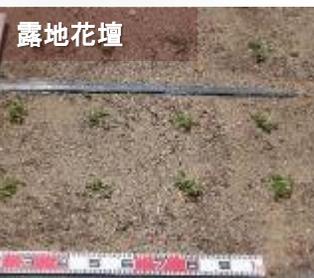
▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/27 (定植後38日)

▲2021/7/8 (定植後80日) 7/12摘芯

▲2021/7/20 (定植後92日)

▲2021/8/5 (定植後108日)



露地花壇



▲2021/4/27 (定植後8日)

▲2021/5/28 (定植後39日)

▲2021/6/22 (定植後64日)

▲2021/7/6 (定植後78日)

入賞 カーネーション「I♡U」(株)エム・アンド・ビー・フローラ

5/11撮影



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Selecta

観察期間：2021年4月25日～9月9日

審査講評

：1株からローズピンク、淡いピンク、白色と咲き進むにつれて花色の変化を楽しめるカーネーション。1鉢で色々な表情が楽しめる。

連続開花性に優れているということで、通常の品種よりはかなり強健な様子がかがえた。JFSの審査は露地と屋根付き施設との両方での栽培・観察なのでそのような審査を行ったが、敢えて露地花壇に植えずとも、コンテナ栽培で母の日ごろからずっと手元に置いて長く楽しむことのできる鉢物として優秀であることが観察された。

5/11撮影



9/2撮影



屋根付き施設



▲2021/4/27
(定植後2日)

▲2021/6/10
(定植後46日)

▲2021/7/8
(定植後74日)

▲2021/7/20
(定植後86日)

▲2021/9/2
(定植後130日)

露地花壇



▲2021/4/27
(定植後2日)

▲2021/5/11
(定植後16日)

▲2021/5/28
(定植後33日)

▲2021/6/22
(定植後58日)

入賞 カリブラコア「チャチャ ディーバホットピンク」 (株)エム・アンド・ビー・フローラ



受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ
(山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2021年5月17日～9月9日

審査講評：花芯の黄色がアクセントにはいる濃いピンクの華やかな花色。多花性でドーム状に茂りバランスがよい。

5月上旬の定植し、6月中下旬には咲きそろい、仕上がりの早さを確認できた。高温期にかけて花の大きさがやや小型化し、花数も減少。高温期にかけては、どちらかというコンテナ植えのほうが、ピンチなどの手を入れをしながら長く楽しむのに向いているかもしれない。

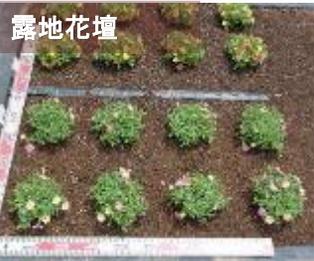


▲2021/5/27
(定植後10日)

▲2021/6/10
(定植後24日)

▲2021/6/22
(定植後36日)

▲2021/7/8
(定植後52日)



▲2021/5/28
(定植後11日)

▲2021/6/8
(定植後22日)

▲2021/6/22
(定植後36日)

▲2021/7/19
(定植後63日)

入賞 カリブラコア「チャチャ ディープブルー」

(株) エム・アンド・ビー・フローラ



6/29撮影

受賞者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ (山梨県)

ホームページ：<http://www.mbflora.co.jp>

育成者：Ball Horticultural Company

育成者権者：(株)エム・アンド・ビー・フローラ

観察期間：2021年5月17日～9月9日

審査講評：濃くシャープで、夏に魅力的なブルー。多花性で連続開花性に優れ、同シリーズの他の品種と同様に咲き揃うのも早く仕上がりが早い。

ただし、スリップスによる花の食害が目立った。薬剤散布のアプローチを添えるとよいだろう。株はバランスよくまとまり、ふんわりと伸びて寄せ植えにも使いやすいそう。雨よけ下のコンテナ植えのほうがよりよかった。分枝はよいという意味では切戻す必要がないのかもしれないが、高温多湿期にはやはり切り戻しの案内をしたほうが一般の消費者には失敗がないのではないだろうか。



8/3撮影



6/29撮影



屋根付き施設



▲2021/5/27 (定植後10日)

▲2021/6/22 (定植後36日)

▲2021/8/5 (定植後80日)

▲2021/8/20 (定植後95日)



露地花壇



▲2021/5/28 (定植後11日)

▲2021/6/8 (定植後22日)

▲2021/6/22 (定植後36日)

▲2021/7/19 (定植後63日)

入賞 ジニア「ベリーズ ディープローズ」 タキイ種苗(株)

6/29撮影



受賞者：タキイ種苗(株)(京都府)
 ホームページ：<https://www.takii.co.jp>
 育成者：タキイ種苗(株)
 育成者権者：タキイ種苗(株)
 観察期間：2021年5月24日～9月9日
 審査講評：

ローズピンクの鮮やかな花色のジニア。花色の個性というより、節間や花首が短く、徒長せずがっしりと横方向に株張りする草姿が特徴。分枝性に優れ、側枝の花つきにも富む多花性。全体にまんべんなく花がつく様子が観察できた。花後の花芯の部分が黒くなり、やや気になるという意見もあった。また、8月中旬の長雨による傷みが出たが、高温乾燥期にはジニアとして十分なパフォーマンスを見せていた。

8/3撮影



6/29撮影



屋根付き施設



▲2021/5/27
(定植後10日)

▲2021/6/22
(定植後36日)

▲2021/8/5
(定植後80日)

▲2021/8/20
(定植後88日)

露地花壇



▲2021/5/28
(定植後11日)

▲2021/6/8
(定植後22日)

▲2021/7/6
(定植後50日)

▲2021/7/19
(定植後63日)

入賞 ガザニア「ピースト シルバーティガー」(株)ハクサン



受賞者：(株)ハクサン(愛知県)
ホームページ：<https://hakusan1.co.jp>
育成者：Plantinova SL
育成者権者：J&Hジャパン
観察期間：2021年5月24日～9月9日
審査講評：

黒いブロッチが入らないクリアな花容と、新規性のあるシルバーリーフ。分枝性に優れ、バランスよく株が広がるが、高温多湿に弱く、花着きが期待ほどになかった。どちらかというコンテナ栽培に向いている。

これまでのガザニアのイメージと異なる雰囲気、カラーリーフとしての活用などでもできるかもしれない。



▲2021/5/27 (定植後3日)



▲2021/6/22 (定植後29日)



▲2021/7/8 (定植後45日)



▲2021/8/5 (定植後73日)



▲2021/8/20 (定植後88日)



▲2021/5/28 (定植後4日)



▲2021/6/8 (定植後15日)



▲2021/6/22 (定植後29日)



▲2021/7/6 (定植後43日)

ジャパンフラワーセレクションの賞体系について



1. フLOWER・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)

各部門の中で最も優れた1品種に授与します。
各審査会での「ベスト・フラワー(優秀賞)」(10点満点の8.0点以上)から、得点、授賞に対する評価、ガーデニング部門は栽培状況データなども踏まえて、11月下旬の中央審査委員会で決定します。

2. ベスト・フラワー(優秀賞)

各部門で、姿、形、デザインに加えて栽培のしやすさなど全体的にバランスのよい優れた品種に授与されます。
各審査会でのジャパンフラワーセレクション入賞品種の中から10点満点の8.0点以上と採点された品種です。

3. ジャパンフラワーセレクション特別賞

各審査会での受賞品種(10点満点の7.0点以上)の中から、花の業界にとって意義があり、新しい可能性を感じさせ、特別なインパクトを与えた品種に授与されます。
なお、以下の賞が設定されていますが、該当する品種がない年は、授与されません。

「モーストジョイ特別賞」

気分をデザインする品種。それがあただけで、喜びに満ち、楽しい気分などをもたしてくれる品種に授与されます。

「ニューバリュー特別賞」

花の新たな価値観をデザインする品種。今までにない新しい価値観を感じさせ、フラワーデザイン、ガーデンデザインの多様性や可能性を広げて花文化の未来に貢献する品種に授与されます。

「ニュースタイル特別賞」

斬新で優れた形状をもつ品種です。これまでになかった新たな花型、葉型、草姿等を持ち、業界にインパクトを与えた品種に授与されます。

「グッドパフォーマンス特別賞」

これまで以上に比べて、生産者にとっても消費者にとっても扱い易く、育てやすい品種に授与されます。

「ブリーディング特別賞」

育種技術により花の芸術性・商品性を高めた品種です。これまでになかった価値観や形質を生み出し、育種の開発コンセプト、育種技術力が優秀で、デザイン・芸術性、商品性の高い品種に授与されます。

「カラークリエイティブ特別賞」

花の色の流行を先取りした品種です。人の色彩の感性に訴えて、新たな花色の創造を期待させる品種に授与されます。

「フレグランス特別賞」

芳香がうるわしく、香りのデザインが優れた品種に授与されます。

「ジャパニデザイン特別賞」

日本らしさを持ち、日本の美意識やデザイン性を感じさせる品種に授与されます。

「ライフデザイン特別賞」

高いデザイン性と、消費者にとって扱いやすい特性を持ち、それがあただけで日々の生活を楽しませ、また、生活空間を豊かにしてくれる品種に授与されます。

「モニター特別賞」

春・秋審査会での一般消費者や買参人等のモニター調査の結果、JFS受賞品種のうち各部門でトップとなった品種に授与されます。(切花部門・鉢物部門のみ)

「フォトジェニック特別賞」

写真を活用した情報発信やコミュニケーションをしなくなるような写真映えの良さを持つ品種に授与されます。

4. ジャパンフラワーセレクション入賞

各審査会で、5名以上の審査員で構成する審査団が採点した結果、10点満点の平均点が7.0以上の品種に授与されます。入賞品種は、上記の1~3の候補となります。

ジャパンフラワーセレクションに入賞した品種は、認定登録を行うことで専用ロゴマークを利用した販売活動等が可能になります。(マークの使用期限はありません)
ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。
JFS認定ロゴマークを利用し、入賞品種のPRにご活用ください。



ご存じですか？ ジャパンフラワーセレクションのロゴマーク。

ジャパンフラワーセレクションで「入賞」に選定された品種は、「認定登録」をおこなうことにより、花の業界が推奨する品種として「ジャパンフラワーセレクション受賞マーク」をPRに活用することができます。

ロゴマークを使用することで「花業界が推奨する品種」として他との差別化を図ることができます。



ポットに差し込むタグに受賞マークを使用。

HPなどで自社製品の紹介に。

カタログの商品紹介や店頭POPに使用。

受賞マークは、一般の消費者に向けたHPや店頭PRだけでなく、生産者向けのカatalogや市場出荷用のカートンやスリーブにも幅広くご利用いただいています。インターネット通販の商品に表示することで、比較購入の際の動機づけにもご活用いただいています。

■ ジャパンフラワーセレクションの認定登録すると、用途によって使い分けられる6種類のマークをご用意

基本的なロゴマーク 日本花き取引コード（JFコード）あり 全6パターン

*JFコード無しのロゴマークも6パターンあります。



■ ジャパンフラワーセレクションの認定登録した品種が、フラワー・オブ・ザ・イヤー（最優秀賞）になった場合は、専用のロゴマークが使用できます。

■ その他、ジャパンフラワーセレクションの広報用のロゴ（全4パターン）もご利用になれます。

フラワー・オブ・ザ・イヤー専用ロゴ 全4パターン



■ JFS認定登録料について

認定登録には別途60,000円（税込66,000円）の認定登録料がかかります。（認定登録は任意です）

認定登録申請書にご記入の上、事務局までお送りください。

認定登録申請書の様式は、jfpc@jfpc.or.jpにご請求いただくか、ホームページから様式をダウンロードしてお使いください。

お問い合わせはこちらへ

<ジャパンフラワーセレクション実行協議会 事務局>

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp ホームページ: <http://www.jf-selections.net>



ご存知ですか？このマーク。
「いい花の新基準」。
ジャパンフラワーセレクション

ジャパンフラワーセレクション受賞品種は、業界が推奨する優れた品種です。
自信をもってお客様へお勧めください。

* 入賞品種は認定登録をすることで販売やPRにこのマークをご利用いただくことができます。